

地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 10 月 日
事業所名	グループホーム元気村
ユニット名	元気村
事業所番号	
記入者名	職名 ホーム長 氏名
連絡先電話番号	

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・理念通りにしていけるように取り組んで生きたい
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念は事業所のエレベーター内やリビングに掲示し、目に付きやすいようにしてある ・理念を額に入れリビングにかざってある ・理念を目に付くところに掲示すると共に、その実践に努めている ・個人個人が理念を理解し日々の職務に就いている ・月に一回必ずミーティングをし理念の実践に取り組むようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務年数の差に意識の差があると思う。理念の実践に取り組まきれていないので、意識の統一が出来たらよいと思う。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には運営推進会議を通して理解を求めている ・リビング入り口の家族の方や外部の方にも見やすい位置に掲示している。 ・家族会等を通じ、ご家族とのコミュニケーションをとっている ・理念の説明は家族には行われていると思うが地域への働きかけは充分ではない。 ・運営推進会議は定期的に行われている。 	<p>いまだに現在の場所にグループホームがあることが浸透していないので今後はさらに地域の人に理解していきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の人と日常的な付き合いはしていない。 ・隣の大型スーパーに買い物や散歩に行き日常的な付き合いが出来るようにしている。 	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアは定期的に来ている。 ・地域の活動には参加できていない 		<ul style="list-style-type: none"> ・さらに積極的に地域での付き合いを増やしていきたい ・地域の中で交流する機会がもてたら生活の幅が広がると思う ・利用者様が自由に出て行くことは難しいので地域の方に気軽に着いていただけるような場所にしていきたい。
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流がほとんどない 		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年 自己評価及び外部評価を行っている ・自分の目標及び事業所の目標を決めそれを行動していくようにしている。 ・自己を評価していく事により食に対する意識の向上がなされている。 ・評価を活かし、改善すべきところは、今までも改善してきている 		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・元気村の活動状況や今後についてなどを議題に話し合っている。 ・定期的に行っている ・利用者様に日々理念に基づいてサービスをしていくように話し合いをしている。 		会議をしていく中で交流を深めていくようにしていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の方が定期的に来所している。 		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会や勉強会への参加が出来る ・必要なら活用できるように考えていくと思う ・成年後見人制度は、知っているが活用できるように支援しているかわからない 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後取り組んでいく必要がある

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待について学んだことはあるが、グループホームなどの虐待はないと思っている ・虐待防止に努めている ・日々利用者様の体の様子に関心を持ち何か変化がないか気にしている 		学ぶ機会があれば、ぜひ参加したい
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時、数々の書面に基つきながら契約をし、また疑問点や不安については説明して対応している ・十分な説明が行われている 		
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様から出た意見や不満などについては職員間、必要であれば外部者と話し合い機会を設けその都度改善策を見つけるようにしている。 ・利用者の意見は出来る限りきいている ・家族会により家族より聞くほか、職員一人ひとりが時間があるときコミュニケーションを図り耳を傾けるようにしている。 ・直接訴えを聞くようにしている 		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会を3ヶ月に一度開催しているほか何かあれば、常に家族に報告相談している。 金銭管理も毎月担当者より報告している ・事故等体調の変化があった場合は、素早い報告がなされていると思う。 ・毎月定期的に家族に向けて暮らしぶりや行事など書面（元氣村メール）で知らせている 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中でもっと気軽に電話やメール、来所してもらえるようにしていきたい。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族からでた意見、苦情等については職員間、外部者と話し合いの機会を儲けその都度改善策を見つけるようにしている。 ・直接訴えを聞くことで対応している。 ・定期的な家族会や面会時等お話を伺っている。 ・家族会で聞くほか常にこちらからお話をさせていただき不満・苦情などをお聞きしそれをミーティングなどで話し合うようにしている 		もっと家族からの意見を積極的に出してもらえるようにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に個人懇談を職員一人ひとりともって話しているほか、ミーティングなどで意見を言い合うようにしている。 ・毎月のミーティングや毎朝の申し送りを行い意見交換している ・意見や提案をしやすい環境が作られていると思う ・折に触れ、意見や提案をすることは可能 ・聞いていただく機会はあるが、反映されているかは疑問である ・定期的に個人面談を行い管理者と職員が話し合う場を設けている 		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が努めている。 日によって職員の数にバラつきがある ・大体出来ているが、時折職員不足の日があり、じ充分な対応が出来ないときがある。 ・利用者様、家族の要望により勤務体制を変化できるようにしている。 		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・異動については、仕方がない場合以外は極力行わないように配慮している ・努めていると思われるが、他の施設との兼ね合いで異動が続いたことがある。 		
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の研修、愛知県下、知多中南部居宅介護サービス連絡会などより通知があり、順次職員へ促している。 ・いろんな委員会を作ってそれぞれ取り組んだ内容を定期的に発表したり、研修を行ったりして、育成に取り組んでいる ・責任者をはじめ、ベテランの職員による指導及びアドバイスが受けられる。 ・新人育成のカリキュラム作りは行っている。 ・研修などへの参加の機会がある 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員を段階や経験に応じて育成していけるように働きながら育成していきたい。 ・研修などあれば、参加したい
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の同業者と交流する機会を持っていない ・地域の勉強会や講演会など出席できるようにしている ・計画しているのではないかと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・交流会があると良い ・いろんな施設や勉強会に参加したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩室がない ・休憩時間がない ・定期的に個人面談を開きそれぞれ日々思っていることや希望などを聞いていくようにしているまた、職員同士で話し合う機会を作る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間を過ごす場所がほしい
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に職員の話を個人的に聞いたり上司に言いやすいようにしている。 ・いろんな講習会を行っている。 ・個人別実行計画書や業務評価票など年に2度提出している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな努力を認めてもらったりして、自分のモチベーションを高くしていきたい
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の面接は、管理責任者が行っている。 		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の面接は、管理責任者が行っている。 		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の面接は、管理責任者が行っている。 ・ミーティングやその都度職員同士で話し合い相談している。 ・努めている 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なら行っている ・最初にグループホームの雰囲気を感じていただくように訪問していただいたりしている 		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中でのお手伝いやレクリエーションまた、行事や介護を通じているんな交流を図り支えあう関係を築いていくようにしている ・尊重する中にも対等な関係を築いている ・これまでの生活歴を理解することに努めその人らしい生き方や考え方を大切にする。 ・一緒に家事をしたり話をしたりする中で時には、利用者様を励ましたり励まされたりまた、尊敬の念を抱いたり互いに支えあっている 		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が面会に来られたときなどはなるべくご家族とお話をする時間を設けている ・ご家族が面会にいらした時は、なるべく利用者様の様子を話すようにしている ・家族会などを定期的開催しご家族への理解と協力をお願いしたり、いろいろな事を話し合える場としている。 ・電話や訪問時、家族会、行事などの参加で会う機会を増やし交流をし支えていけるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・家族会以外にも個人的に何を希望するのか話ができるようにしていきたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族とそれぞれ交流を図り話をしお互いの気持ちが通じるようにしている。 ・家族会や面会時などにお話を伺ったり、ホームでの様子を伝えたりしている ・本人の状況、様子などを必要に応じて連絡を取っている。 ・本人とご家族との橋渡し役になれるようお互いの関係を把握し、理解に努めている。 		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・外出の機会などにご本人のなじみの方にお会いしたり、なじみの場所を訪れたりして昔を思い出していただくきっかけになればと支援している。 ・本人の希望と家族の協力により関係を続けることは可能である。 ・会話を通じて思い出していただいたり、回想法を支援している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し外出の機会を増やしていけたらと思う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士話の合う方や中の良い方など席を近くにしたりレクをしたりしている。 ・利用者同士の関係に職員が留意し、情報を共有し、必要な場合は職員が間に入りよりよい関係が保てるようにしている ・出来るだけ皆と何かを作成したり、歌を歌ったり、昔を懐かしむ話に努めている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士、職員との関係の中で毎日をそれぞれのペースでゆったりと過ごしてもらえるようにしていきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> ・退所してしまうと関係はなくなってしまう。 ・ある程度契約終了後の状況について把握している 		
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> ・本人より昔の話を聞いたり、ご家族の方よりお聞きし、その人らしい暮らし方が出来るように配慮していくようにしている。 ・利用者様一人ひとりの声に耳を傾け、可能な限り希望に添うようにしている。 ・一人ひとりが今までどうやって生きてきたかを把握し、その上で思いや希望、意向の把握に努めている。 		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族にご本人のこれまでの暮らしについてなどの話を伺う機会を設けている。 ・家族会のときに古い写真を持ってきてもらい蒸らしの話を聞いた。 ・ご家族やそれまでのサービス利用施設から情報提供により把握している ・ご家族の方にお聞きしたり、ご本人より聞きだせるよう回想法を行ったりしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族に話を聞くなどして利用者様の今までの暮らしについてももう少し理解したい ・入所前の暮らしについてアセスメントしていきたい
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・その方のペースに合わせ希望をお聞きし、なるべく自由にゆったり過ごしていただくように努力している。 ・毎朝、職員間でミーティングを行い情報交換に努めている。 ・日々の変化、体調に留意し、それぞれにあった暮らし方への援助を検討している ・なるべく、視野を広げて把握するようにしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・現状を把握し、課題を日々の中で解消していけるようにプラン立案、実行に努めたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月マンスリーを作成、3ヶ月毎に援助計画を作成している。そのため、ご家族の意向や本人など話を聞き、また、職員同士が意見を出し合っている。 ・3ヶ月毎に家族会を行い、話し合う機会を持っている。 ・必要があれば、ご家族からも意見を頂援助計画に活かしている。 ・援助計画はご家族へ説明し、お渡ししている。 ・特に問題のある利用者様については話し合いや考えを出し合って介護をしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族にも了解を取り皆でよりよい介護が出来るよう汗顔が得て勉強し、実行している
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月毎に援助計画の見直しを行う。変更があれば、家族会時にご家族の方に了承を得、ご家族からの要望があればさらに、変更点に盛り込む。 ・援助計画の見直しは、定期的に行われている。その中で現状に即した計画となるよう配慮している。 		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カルテに日々の様子を記入している。特記事項などあれば、その都度特変事項に記入している。 ・日々の様子は、記録に残し、必要なことは、申し送りをし情報の共有を行っている。 ・個人カルテ、業務日誌、申し送りノートに記入して情報の共有できるようにしている。 		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要望に応じ、受診したり、シニアフィットネスに参加している。 ・往診や病院受診も出来るよう医療機関と連携している 		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験ボランティアやヘルパー実習派の受け入れなどしている。 ・年に数回ボランティアの方に来ていただいたことはある ・学生のボランティアや中学校の吹奏楽、尺八、読み聞かせなどのボランティアが着てくれる ・ボランティアでハーモニカ演奏をしていただいたりしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりづらい場所にあるがボランティアの方々を増やして行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、しているのではないかと思う ・利用者様の要望に応じてケアマネジャーと連絡を取っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・もっとケアマネジャーや他事業者と交流を図って行きたい。
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行われていない 		
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、利用者様の健康状態に気を配り、異変があれば家族に連絡して適切な医療を受けている。 ・月2回の往診により対応している。 ・1階に診療所があり、法人内には、内科もあるため常に医療を受けられるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・常に連携した医療と連絡が取れて受診ができるようにしていきたい。
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連携病院にて神経内科が受診でき、薬の服用の見直しなどしている。 ・必要な方には、職員とご家族の話し合いにより専門医の受診をしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に認知症の専門医に相談や疑問など聞けるようにしていきたい
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の看護師がおり日常的に連携を取っている。 ・利用者様の变化など必要なときは、連絡を取り指示が受けられる。 ・定期的に看護師の訪問があり利用者様の様子を見ていただいている。 		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換はできていると思われる 退院時の対応等職員内で情報を共有できている。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>終末期の受け入れについて、そのときの具体的な対処法を知って生きたい。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の様子を見ながら出来ること、楽しめることをやっている ・日によって出来ない時もある。 ・本人の希望があれば、出来る限りの対応している出来ないときは、その旨理解していただけるよう説明している。 ・出来る限り本人の希望に添って毎日暮らしの中でペースを大切にしていこうとしている。 		ご家族と本人より昔の話や暮らしぶりを聞いて一人ひとりの思いに答えていけるように支援していきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、洋服を選んでもらったりしている 希望があれば、ご家族に連絡を取り連れて行ってくださるよう依頼する。 ・定期的にボランティアの方に来てもらっている。 ・理美容院へ行かれるときはご家族が対応されている。 ・家族同行で美容院へ行かれる方もあるが、ボランティアの美容師により施設内でカットも行っている 		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の望む利用や美容店をなるべくいけるようにしたい ・女性が多いのでお化粧品をしていただいて記念写真を撮りたい
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのペースで食事を楽しんでもらっている ・片付けなど食器拭き、お盆拭きなどをしてもらっている。 ・一緒に買い物に出掛けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の食べたいものを定期的にお聞きメニューに取り入れている ・献立の毎日の表示をしたい ・利用者様には責任が重圧になるかたもいるので気をつけたい
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が好む飲み物などと選んでもらっている。 ・タバコは現在吸われる方はいない。 ・飲み物やおやつに関しては一緒に買い物に行き選んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体が許すならお酒なども少し楽しめるようにしたい
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・尿量の多い方は、1時間毎のトイレ誘導をし、大体の方は、2時間毎に行っている。 ・失禁の少ない方には、リハビリパンツではなく布パンツを着用していただく。 ・排泄チェック表によりそれぞれの排泄パターンに配慮し、定時必要に応じ随時誘導をしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを使いやすくしたい
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴剤を使用したり、声掛けし、希望を聞いて入浴時間を決めずにお誘いしている。 ・基本的に2日に一度は、入浴が可能 ・希望あれば、状況により毎日入っている人もいる ・本人のタイミングはなるべく、希望に添うようにしている 		夜間の入浴も出来るならばしたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、安心して気持ち よく休息したり眠れるよう支援 している	<ul style="list-style-type: none"> ・食後、入浴後、居室で休んで いただいたり、リビングでもベ ッドを設置し、いつでも休んで いただけるようにしている。 ・その人その人にあった生活 習慣を大切にして過ごして いただいている。 昼寝や就寝 は好きなようにしていただ いている 		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの 支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が出来る範囲で お手伝いなど参加していただ く。 ・レクや外出なども行ってい る。 ・ラジオ体操など身体を動か したり皆で和気藹々とレクを やっていたい 		いろいろな意味で個人個人 が楽しみを見つけて生活が 出来るように支援していき たい
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応じ て、お金を所持したり使える ように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭を自分で持って買い物 に出掛け支払いそ自分です ることは少ない 		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず に、一人ひとりのその日の希 望にそって、戸外に出かけら れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日近くのスーパーへ出 掛けている 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員に余裕があるならば 定期的に希望をお聞きし外 出していきたい。
62	普段行けない場所への外出 支援 一人ひとりが行ってみたい 普段は行けないところに、個 別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機 会をつくり、支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションで利用 者様の希望を聞いたりして 行っている ・レクリエーションの一環 として行ったことがある ・行事で「スペシャルDAY」 とし個々にお出かけが出来 た 		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族と一緒にいって もらえるようにしていきたい
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自 らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支 援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・自己にて電話を掛けられ る人は、好きなときに掛け ていただいている ・本人が電話と希望すれば 支援している 		<ul style="list-style-type: none"> ・手紙についても支援して いきたい


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも来所していただけるように職員の接客や声掛けまた、気安い雰囲気を中心している。 ・エレベーター内に施設のお知らせなど掲示し、訪問を呼びかけたりしている。 ・3階の入り口に来所者の記録をしてもらうコーナーある ・訪問者に対しては、気持ちのよい挨拶を中心している 		<ul style="list-style-type: none"> ・さらに来所していただけるように交流を持ちたい
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様にご自分のペースにて過ごしていただいている。拘束しないことによる転倒や異食のリスクを減らすため見守りの徹底をしている ・職員全体が拘束のないケアを心掛けている ・どうしても必要な際には家族への説明、同意をいただいた上で最小限行うこともある。 ・勉強会を行っているほか 身体拘束をしないケアを実践している店頭など危険のある方は、書面にてご家族より承認してもらっている。 		さらに正しく勉強して工夫してみんなで考えていくようにしたい
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・留守になるときは、希望により鍵を掛けている ・鍵の掛けないケアの大切さは理解している。 ・他の方の居室へ入られる方によりトラブル防止のため状態に応じて施錠している 		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・所在については、常に確認できるように心掛けている。 		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・異食などが多いため、口に入れやすいもの食べ物に間違いやすいものは片付けている。洗剤等も鍵がついた引き出しに保管している ・利用者様の状態に応じ、対応している ・はさみなどレクリエーションで使用する際は、使用前後に数の確認、目を配っている 		画鋲やガムテープは両面テープにする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り、全体への注意、職員間の報連相を徹底している。 ・転倒については、特に気をつけている ・誤薬についてチェック表をつけたり、セットミスをなくすように取り組んでいる。 ・事故報告、ひやりはっとなど閲覧し、同じ事故を起こさないように防止策を職員で話し合っている 		
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・事故マニュアルを作り、緊急連絡網などを作っている ・また人工呼吸、心肺蘇生法など講習参加している 		一人ひとりの職員がマニュアルを見なくても素早く対応できるように日頃から訓練の必要がある
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、消防活動の訓練をしている。 ・地域の住民がおらず協力は難しい 		・もう少し具体的にいろんな場合を想定して訓練していきたい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間転倒のリスクは増すが職員の目の届く場所にて寝ていただくこともある ・3ヶ月毎に家族会でご家族にお話している ・リスクについては、ご家族への説明がなされている ・怪我や事故などリスクなどは体調の変化などに応じて説明している 		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バイタルチェックをして異変がある際は、申し送りし、1階への受診を行っている ・出来ていると思う情報交換がしやすい環境が整っている ・体調の変化は、職員間の情報共有に合わせ、担当看護師への連絡指示を仰ぐということも必要により行っている 		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていない ・薬の変更などについては申し送りを徹底している ・服薬についても一人ひとりに合わせて服薬の確認や支援し、チェックしている。 ・薬剤師との連絡も取れるようになっている ・処方箋などが常備してある。 		・薬について積極的に理解しようとする勉強が必要

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・排便を日々チェックし、それに応じてその人にあった下剤の服用、水分補給、適度な運動などを取り入れている。 ・飲食物の工夫はなされているが、身体を動かさず働きかけが少ない ・薬に便りがちな部分がある 		身体を動かす工夫を増やす
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、一人ひとりの力に応じた状態に合わせて支援している ・義歯は週に一度洗浄を行っている。 ・チェック表にてチェックもしている 		・月に一度くらい口腔内を見てもらえるようにしたい
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事量を毎食チェックし、水分量も必要に応じて行っている。 ・個々に合わせた盛り付けなど工夫されている ・好みに応じて可能な範囲で食事内容を変更したり、量の調節、食事形態の変更など考えている。 		・栄養のバランスのとり方や調理法等の講習をやってほしい
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの励行 ・食膳に手の消毒 ・トイレ後に手洗いペーパータオルの使用をしている ・マニュアルや資料の呈示がある 		・感染症に対するマニュアル作りを敏速な対応が出来るようにしたい
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・食器の消毒、毎日の買い物、職員の手洗い食材の管理を徹底している 		・定期的なチェック

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関周りに花を飾ったり、季節感のある壁飾りなどを行っている ・玄関には、古木よき時代の温かみを感じさせる木製の看板と植物が置かれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関がわかりにくいのでわかりやすくしたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、季節のタペストリーを利用者様と一緒に作り、飾っている ・トイレが使いづらい ・リビングは、ガラス窓が多くカーテンなどにより日照、採光に注意している 	夏の花火、春の桜、秋の月見と楽しんでいただけ
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は決まった席で食べてみえるが、あとは居室や廊下リビングなど自由に過ごしている。 ・限られた空間の中にベッドや畳の空間、ソファなどを配置し、それぞれの思いで過ごせる配慮をしている。 	
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人やご家族の写真を飾ったり昔の家計簿や日記を置いたりしている ・利用者様毎に必要なものや思い出のあるものを持込がされている。 	今まで過ごした思い出の品などをもっともって来てもらえるようにしたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・臭いは、消臭スプレーや消臭剤をおいたりしている。 ・温度調節、空気の入替えも気をつけている。 ・トイレにドアがないために廊下やリビング入り口に臭いが流れ出てしまう ・トイレの換気が悪い 	空調設備の不良など修理しているが、定期的に点検するようにしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・滑り止めや段差をなくす工夫、手すりの設置などが必要なところにされている</p>	<p>トイレの整備</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>・出来るお手伝いを出来る範囲でしてもらっている</p> <p>・お礼を必ず言うようにしている</p> <p>・各居室の入り口にそれぞれ暖簾を掛けたり写真を掲示したりしてわかりやすくしている</p>	
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>・時々散歩に出掛けたりしている。</p>	<p>・屋上のスペースを利用してプランターでの野菜や花作りをしたい</p> <p>・もう少し気軽に出掛けられるようにしたい</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在の場所へ移転以降、アセスメントやケアプランの策定・評価には、十分に力をいれている。アセスメントでは、センター方式を用いアセスメントチーム(4名)からあらゆる角度で利用者様の立場に立ったプランを作れるようにしており、評価では一ヶ月毎に定期的に取り組み、柔軟な対応ができるようにしている。ご家族との交流においては、3ヶ月に一度家族懇談会を開き、職員とご家族の交流を経て、現在では、ご家族同士の交流へと転換しているところである。基本的な介護面としては、3大介護を重点的に行っている。排泄では、2時間毎の誘導や1時間毎の誘導など 入浴では、1日おきの人から毎日の人と、食事は、食事形態も柔軟に対応できるなど 一人ひとりの利用者様に合った方法で 個別的に取り組んでいる。工業地帯という立地条件ではあるが、隣のショッピングセンターを活かし、ほぼ毎日散歩しつつ買い物に出掛けられる特色も出せている。その人らしい生活をしていただけるよう、その人のペースを大切に、理解して思いを共有できる羽陽に行動をなるべく束縛せず、自由に過ごしてもらえよう日々職員同士、上司と話し合いながら取り組んでいる。